

評価・コメント集計表

令和4年2月17日  
鶴岡高専 運営協議会

「外部評価」欄  
5：期待を上回って実施している  
4：十分に実施している  
3：実施している  
2：十分には実施していない  
1：実施していない

(1) 評価点集計結果

基準	点検項目	報告者	各観点の自己評価平均点	A	B	C	D	E	F	委員平均
基準1	教育の内部質保証システム (3つの方針[DP,CP,AP]に関する項目、及び校内PDCAサイクルに関する項目を含む)に関すること	教務主事	4	4	4	5	4	4	4	4.2
基準2	教育組織及び教員・教育支援者等に関すること	教務主事	4	4	4	4	4	4	4	4.0
基準3	学習環境及び学生支援等に関すること	学生主事 寮務主事	4	4	4	4	4	4	4	4.0
基準4	財務基盤及び管理運営に関すること	事務部長	4	5	4	4	4	4	4	4.2
基準5	準学士課程の教育課程・教育方法に関すること	教務主事	4	4	4	4	4	4	4	4.0
基準6	準学士課程の学生の受入れに関すること									
基準7	準学士課程の学習・教育の成果に関すること									
基準8	専攻科課程の教育活動の状況に関すること	専攻科長	4	4	4	4	4	4	4	4.0
選択的評価事項 A	研究活動の状況	地域連携センター長	5	5	4	5	5	5	4	4.7
選択的評価事項 B	地域貢献活動の状況									

(2) 評価コメント

基準	点検項目	報告者	委員コメント
基準1	教育の内部質保証システム (3つの方針[DP,CP,AP]に関する項目、及び校内PDCAサイクルに関する項目を含む)に関すること	教務主事	<p>◆ [全体として] 全ての基準等を十分に達成している。さらに研究活動及び地域貢献活動は全高専の中でもモデルケースとして発信できるほどの優れた成果を発信している。そのことをステークホルダーとなる中学生及び保護者に向けて情報発信し、優秀な学生確保に努めてほしい。高専であれば、コロナ禍でもICTを活用した素晴らしい発信もできるはずです。中学生には高専生を、保護者には教員が対応するという考え方も必要かもしれません。頑張ってくださいと思います</p> <p>◆ バイタリティのある学生の育成</p> <p>◆ 自己評価以上の取り組みがなされていると感じました</p>
基準2	教育組織及び教員・教育支援者等に関すること	教務主事	(コメント等なし)
基準3	学習環境及び学生支援等に関すること	学生主事 寮務主事	◆ 内陸からの学生募集を強化する。そして地元就職へ力を入れる
基準4	財務基盤及び管理運営に関すること	事務部長	(コメント等なし)
基準5	準学士課程の教育課程・教育方法に関すること	教務主事	◆ 学生教育の目的をしっかりと持たせる
基準6	準学士課程の学生の受入れに関すること		◆ 鶴岡高専の特色ある教育活動や就職状況については保護者・中学生から見ても好印象になるものと考えている。今年度の入学志願者数の減少については説明会を多数開催されたとのことだったが、PR方法等の見直しが必要なのではと考える。県外学生もいる中、地域コミュニティ等で県・市についての知見を得る機会もあり、地元就職への一助となるものと考えている。引き続き高専卒業生の地元定着増に期待したい
基準7	準学士課程の学習・教育の成果に関すること		
基準8	専攻科課程の教育活動の状況に関すること	専攻科長	(コメント等なし)
選択的 評価事項 A	研究活動の状況	地域連携 センター長	<p>◆ 起業家の育成へ力を入れて欲しい</p> <p>◆ 学生の外部発表や外部資金獲得に向けた体制構築など、さまざまな活動を通じて学生の能力向上と学校の活性化に取り組んでいることに敬意を表します。今後は、「魅力ある学校として鶴岡高専の10年ビジョン」の「地域に貢献する高専」にも掲げられている「卒業生の地元就職」についても、さらなる取り組みを期待します</p> <p>◆ 特色ある取り組みがなされており、大変参考になりました。今後の進路指導に生かせればと思います</p>
選択的 評価事項 B	地域貢献活動の状況		<p>◆ 科研費セミナーや科研費申請数、外部資金申請数の増加により、積極的に研究費を獲得し、研究活動の充実を図る姿勢や外部資金獲得状況が東北管内でもトップであることは高く評価できる。このような積極的な研究活動への取組は高専学生に対しての教育活動にも繋がるものと期待できる。また、市民サロン等のセミナーについても満足度の高いものを開催されており、各セミナーでの参加者層に合わせた内容を講演されているものと考えている。今後も高専が身近に感じられる活動を期待する</p>